

テーブルをスキーマタグ付き KML に出力

TNTmips のエクスポート処理では、ベクタや CAD の内部の図形オブジェクトやシェープファイル、DXF、DGN、DWG、TAB などにリンクされた要素にアタッチされている属性を、KML ファイル内のスキーマタグに変換します。スキーマタグはデータベースフィールドの追加に使われる KML コード中の拡張プレースマーク要素です。オブジェクトのポイントやライン、ポリゴンの各要素タイプに関連付けられた 1 つの属性テーブルを選択すると、選択した属性テーブルに対して KML スキーマタグを作ることができて、選択したテーブルの内容全てを Google Earth プロで表示することができます。Google Earth プロのデータベーステーブルツールを使って、属性を使った要素の選択や、ある値に従ってフィールドを並べ替えたり、列や行を非表示にすることが出来ます。

KML スキーマタグに関連するこの機能は、KML ファイルを Google Earth プロで開く時のみ有効です。

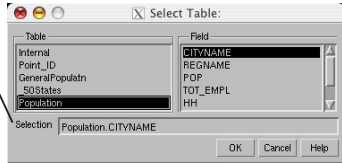
これらのボタンをクリックし、〈テーブルを選択〉ダイアログ(右下図)を使って属性テーブルからフィールドを選択します。



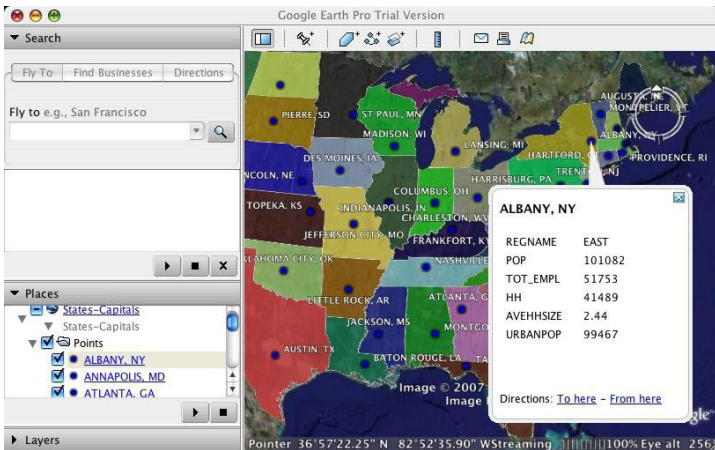
このトグルにチェックを入れて、選択したデータベーステーブルを含む KML スキーマタグを作成します。

〈エクスポートのパラメータ〉ウィンドウには図形オブジェクトのポイント、ライン、ポリゴンに対してデータベーステーブルからテーブルとフィールドを選択するために別々のパネルがあります。どのパネルでも [Name Field] ボタンを押すと、その要素タイプに関連したデータベーステーブルがそれらが含むフィールドと一緒に一覧表示されます。Name Field を指定すると、KML ファイルの中の各要素はそのフィールドの関連したレコードの名前が付けられ、選択したテーブルのその他のフィールドのレコードも保持します。[Use KML schema to include tables] トグルにチェックを入れると、Google Earth プロで選択したデータベーステーブルやフィールドとレコードを表示することができます。オブジェクトがリレーショナルテーブルの属性構造を持っている場合、エクスポートを使う前に計算フィールドや TNT 製品の中のその他のデータベース管理ツールを使って 1 枚の属性テーブルを準備するようにします。KML 形式へのエクスポートに関するより詳しい情報は、テクニカルガイドの“エクスポート：図形オブジェクトを KML に変換する (Export: Geometric Objects to KML)”をご覧ください。

Population データベーステーブルの CITYNAME フィールドがポイント要素 (プレースマーク) に対して選択されています。



図形オブジェクトから作成された KML ファイルをグーグルアースで表示すると、オブジェクト名が [場所] パネルのテンポラリプレースフォルダに表示されます。さらにエクスポート処理で選択したテーブルとフィールドの値とともに要素が一覧表示されます。要素によらず他のフィールドのレコードを表示することができますが、グーグルアースの無料版ではテーブルの内容全てを表示することはできません。



左図は [場所] パネルに一覧表示されたポイント要素を、エクスポート処理で選択した Population.CITYNAME の値とともに示しています。任意のポイント要素のフィールド値をクリックすると、関連した要素の人口テーブルの全てのフィールドのレコードを表示します。

TNTmips で表示されているポイントデータベーステーブル

CITYNAME	REGNAME	POP	TOT_EMPL	HH	AVEHHSIZE	URBANPOP
ALBANY, NY	EAST	101082	51753	41489	2.44	99467
ANNAPOLIS, MD	SOUTH	33187	18961	12239	2.71	31433
ATLANTA, GA	SOUTH	394017	189532	157036	2.51	389485
AUGUSTA, ME	EAST	21325	10351	8648	2.47	18053
AUSTIN, TX	SOUTH	465622	249622	189731	2.45	443342
BATON ROUGE, LA	SOUTH	219531	98909	61973	2.68	213354
BISMARCK, ND	MIDWEST	49296	25622	18714	2.63	44944
BOISE CITY, ID	WEST	129736	65473	48425	2.80	121719
BOSTON, MA	EAST	574283	294077	231283	2.48	574283
CARSON CITY, NV	WEST	40443	19728	15706	2.57	36846
CHARLESTON, WV	SOUTH	57287	24364	24026	2.38	43377
CHEYENNE, WY	WEST	50008	24988	19350	2.58	46893

Google Earth プロのメインツールバーにある [ツール/テーブル] を使って、データベーステーブルを表示することができます。右図は KML スキーマタグを使ってエクスポートした人口データベーステーブルのレコードの一部を表示しています。KML ファイルをスキーマタグなしでエクスポートすると、テーブルには名前と説明のフィールドのみが表示されます。

Google Earth プロで表示されているポイントデータベーステーブル

name	description	URBANPOP	AVEHHSIZE	HH	TOT_EMPL	POP	REGNAME	CITYNAME
ALBANY, NY	POP <td>101082</td> TOT_EMPL <td>51753</td> HH <td>41489</td>	99467	2.44	41489	51753	101082	EAST	ALBANY, NY
ANNAPOLIS, MD	<tr><td>HH</td><td>122</td></tr><tr><td>HH</td><td>12239</td></tr><tr><td>HH</td><td>12239</td></tr>	31433	2.71	12239	18961	33187	SOUTH	ANNAPOLIS, MD
ATLANTA, GA	<tr><td>HH</td><td>157</td></tr><tr><td>HH</td><td>157036</td></tr><tr><td>HH</td><td>157036</td></tr>	389485	2.51	157036	189532	394017	SOUTH	ATLANTA, GA
AUGUSTA, ME	<tr><td>HH</td><td>864</td></tr><tr><td>HH</td><td>8648</td></tr><tr><td>HH</td><td>8648</td></tr>	18053	2.47	8648	10351	21325	EAST	AUGUSTA, ME
AUSTIN, TX	<tr><td>HH</td><td>189</td></tr><tr><td>HH</td><td>189731</td></tr><tr><td>HH</td><td>189731</td></tr>	443342	2.45	189731	249622	465622	SOUTH	AUSTIN, TX

下にスクロールすると、他のデータベーステーブルも表示することができます。

下にスクロールすると、データベーステーブルのレコードを表示することができます。

セルの上でダブルクリックすると、関連する要素をズームすることができます。

セルの上で右クリックすると、さらにテーブルに関係したツールが出てきます。